

平成22年度伊予市 一般会計予算

電波遮へい対策事業に ついて

金額が非常に大きい事業となっており、事業内容は、

問

現在、市内十数カ所のテレビ共聴組合と、新たなデジタル化による難視聴地域に対する放送化に対応するための改修工事の補助を行う事業である。

答

国の補助が2分の1と3分の2とに分かれており、基準は、事業費が加入世帯掛ける3万5000円の4倍以上になると国が2分の1、4倍未満の場合には3分の2となる。これにNHKの支援制度もあり、NHKの受信加入率によって助成が変わってくる。

事業内容としては、アンテナ交換はもちろんであるが、送電線についてもデジタルが送信できない線もあるため、こういった改修についても対象となる。

また、距離が長くなる場合には、増幅器も対象となる。

集会所改築及び改修に ついて

問

①市場集会所改築工事における地元負担金について
②集会所改修等事業補助金について

答

①改築工事概要は、木造平屋建て、床面積170・1平方メートルである。

分担金の基礎となる建築価格を1平方メートルあたり17万円で限度設定している。したがって、170・1平方メートル掛ける17万円が工事費の積算根拠と



改築予定の市場集会所

なっており、工事費の289万7000円の40%と手数料等の4万7000円、この合計額1161万3000円が分担金徴収条例に基づく分担金である。

②伊予地域で9カ所、上野集会所・下吾川池田集会所・大平みどりが丘集会所・宮下集会所・宮下音地集会所・上野松本集会所・森本村集会所・森下組・森集会所・双海地区では満野空集会所・両谷集会所の2カ所、合計11カ所である。

改修に要する見積額として、2100万円弱ぐらいの要求額が出ていたが、増加を見込んで2300万円で見積り、50%補助の1150万円としている。

旅券交付機（パスポート） 導入について

問

①旅券事務の移譲を、なぜ今回受けたのか。
②伊予市で手続をした場合と今までの県のパスポートセンターでの手続との違いは。
③伊予市で想定される旅券の申請の件数は。



パスポート5年用と10年用

答

①今年度、県のパスポートセンターがフジグラン松山に移転し、その際、松山市が同じフロアに入り、権限移譲を受けることで、県から他市町にも権限委譲の依頼があった。

特に懸念されていたパスポート受渡しの際の事故もなく、他市町でも委譲を受けるということで、今回旅券事務の移譲を受けることになった。
②今までの申請から受取までの日数が4日から8日と倍ぐらいかかるが、伊予市に本籍がある方は、戸籍抄本の申請と同時に手続ができる。
パスポートセンターでは、週2日は午後7時まで時間延長していたが、本市の現在の状況では、5時15分までしか

受け取れないので、お勤めの方が受け取るのが難しい。今後、他市の状況も確認して、対応を考えていきたい。
③実績では、平成19年度は751件、平成20年度が619件の申請があった。

問

①7200万円の設計委託料の内訳は。
②市民への意見公募や議会の特別委員会の議論の最中において、3月議会への予算計上は、早計では。

答

①建設費用16億円の4・5%で7200万円を計上した。これは、基本設計、実施設計すべてを含んでいる。
②勇み足であったことを陳謝申し上げる。意見公募を26日で締め切る前日の25日に出したことについては、反省している。
意見公募手続条例の規定に基づき市民からの提案は、835件である。第1次総合計